

慶応戦 赤鬼の春Ⅱ 32 に向けて③



選手を支える人の声



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

根元龍馬君

根元龍馬君(1-8)は「初戦の対戦校である慶應義塾高校は賢い学校だと聞いている。また自分たちとプレースタイルが似ているといった印象を受けた。自分はスタンダードメンバーなので、選手が甲子園で勝てるような応援をして試合を盛り上げていきたい」と話した。

吉田康起君

吉田康起君(2-2)は「相手は強豪の私立高校で、中学生のころに日本代表に選ばれていた選手もいる。だからこそ自分たちの全力を發揮して頑張りたい。自分はベンチ入りできなかったが、ベンチメンバーのサポートを頑張りたい」と気を引き締めた。

草野快君

草野快君(2-3)は「強豪と当たったイメージ。自分たちは夏に甲子園に出たことが効いているが、課題を克服し、次の夏・春に向けてチームも自分も頑張りたい」と話した。

板倉佑安君

板倉佑安君(2-6)は対戦校である慶応高校について「慶応高校の野球部は『enjoy baseball』をテーマにしている。野球部員が坊主にしていなかったりする。こういうところから相手校の校風が伺えると思う。同じ頭を使うチームとして、28日の対戦が楽しみだ」と話した。また「この大会ではサポートをすることになるが、自分は春の大会を

松永恭典君

松永恭典君(2-7)は「慶応高校は自分たちと似た左投げのピッチャーが2人いる投手中心のチームだ。しかし臆せず、自分たちの野球をしたい。試合までにしっかりと調整して、自分たちチームが今出せるすべての力を出せるように頑張りたい」と意欲を見せた。

伊吹潤也君

伊吹潤也君(2-8)は慶応高校の印象を「慶応高校のことはそれまで知らなかったが、推薦などを使って人を集めているチームだと聞いた」と話した。また「対戦相手は強豪だけれど、相手の強さに

小山伶君

小山伶君(2-8)は「慶応高校は強豪だし自分たちとプレースタイルも似ているので、負けないように頑張りたい。この試合は注目されるものになると思うので、恥の無いようにしたい」と意気込んだ。

村中隆之先生

監督の村中隆之先生は「良いチームで戦えるので、初戦突破して昨夏を超えるようにしたい。まずは1勝して、夏にできなかった2勝を成し遂げたい」と目標を掲げられた。

夏までの長い期間の一部として見据えている。だからサポートしつつも、これからベンチに入れるように自分の能力も伸ばしていきたい。自分はボールボーイなどをするので、スタンドで声を出して応援するということはできないが、視線やサポートなどでチームに貢献したい」と意気込んだ。